

## 2023（令和5）年度 拓殖大学 教員募集要領

本学の建学の理念と教育方針に共感し、教育、研究及び学部の諸業務に熱意を持ってあたると共に、本学への帰属意識と一体感を有する人材を求めます。

1. 職名、人数 : 教授または准教授 1名
2. 所属 : 政経学部
3. 募集分野 : 経済学、経営学およびその関連分野/経済政策関連
4. 主要担当科目 : マクロ経済学、経済政策論、経済政策特論（大学院）、  
経済政策特論演習（大学院）
5. その他の担当予定科目 : アカデミック・スキル、ゼミナール
6. 採用予定日 : 2023（令和5）年4月1日
7. 応募資格 :
  - (1) 当該分野（マクロ経済学）に関する研究業績を有する大学院博士後期課程修了者、あるいはそれと同等以上の教育・研究歴または実務経験を有する方。
  - (2) 大学院において講義及び研究指導を担当できる方。

### 8. 主要担当科目について求める教育内容

「マクロ経済学」は、経済学科のすべての学生が1年次において履修すべき科目と位置付けられています。そのため、学生が経済学の理論的・実践的知識を身につけるための土台となる教育を行うことを求めます。また、「経済政策論」では、現在、私たちが直面しているマクロ経済の諸問題に対して、学生の問題意識を喚起しつつ、マクロ経済学の枠組みを用いて、そうした諸問題にどのように対処することができるのか、学生が主体的に考える力を養うような教育を行うことを求めています。

9. 待遇 : 本学就業規則・給与規則等によります。

### 10. 提出書類 : ※様式は本学ホームページ( <https://www.takushoku-u.ac.jp/> )から取得してください。

- (1) 応募書類（表紙） [様式1]
- (2) 履歴書（写真貼付のこと） [様式2]
- (3) 教育・研究に関する抱負 [様式3]
- (4) 主要担当科目講義要項案 [様式4]  
(「マクロ経済学Ⅰ」、「経済政策論A」の2科目について作成してください。)  
本学HPに掲載の「講義要項」を参照の上、上記「8. 主要担当科目について求める教育内容」を参考に独自の講義要項案を作成してください。
- (5) 研究業績一覧 [様式5]
- (6) 主要業績3点（著書・論文等）のA4判のコピー  
※可能であれば、PDFファイル等のデータを保存したUSBメモリも併せてご提出ください。
- (7) 主要業績3点の要約 [様式6]
- (8) 上記の(1)、(2)、(5)のWordファイルを保存したUSBメモリ
- (9) 最終学歴の卒業・修了証明書の原本（学位記のコピーも可）
- (10) 健康診断書  
※最終選考に進まれた方に提出していただきます。

※ 応募者の個人情報、法令および本学の規程に則り取り扱い、目的外の使用や第三者への提供はいたしません。なお、採用されなかった方の応募書類（USBメモリを含む）は返却いたしません。適切な方法で処分いたしますので、予めご承知置きます。

11. 応募書類提出先 : 拓殖大学 学長事務室（文京キャンパス）  
〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14 (TEL: 03-3947-7299)

※ 封筒に『政経学部・マクロ経済学/経済政策論 教員応募書類在中』と朱書き、書留郵便で送付してください。  
直接窓口での受付は一切行いません。

12. 提出期限 : 2022（令和4）年9月9日（金）郵送必着

13. 選考方法 : (1) 書類審査 (2) 学部面接・模擬授業等 (3) 最終面接

14. 選考結果の通知 : 選考が終了次第、本人に通知します。  
※第一次選考（書類審査）結果は10月上旬にE-mailにて通知予定です。  
第二次選考（学部面接・模擬授業等）は10月中旬に実施予定です。  
第三次選考（最終面接）は11月上旬に実施予定です。

15. 問い合わせ先 : 拓殖大学 学長事務室（文京キャンパス）  
(E-mail : [g-kyoinkoubo@ofc.takushoku-u.ac.jp](mailto:g-kyoinkoubo@ofc.takushoku-u.ac.jp))

※ E-mail でお問い合わせください。

8月11日（木）～18日（木）の期間は夏季一斉休暇期間となります。  
夏季一斉休暇期間中はお問い合わせには回答できませんので、あらかじめご承知置きます。

### 16. 備考 :

- ・定年退職日は満65歳に達した、その年度末となります。ただし、定年時に教授の方は、定年退職後の再雇用制度（3年間を限度）の適用を申請することができます。（審査あり）
- ・大学からの各種連絡は、原則としてE-mail（応募書類（表紙）に記入のアドレス）で行います。
- ・募集分野については、参考として「令和5年度科学研究費助成事業」の審査区分表（小区分）で示してあります。

以上